

1・2年 A年度

内容解説資料

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
一ねんせいになつたよ	適宜	どうとくが はじまるよ	道徳科では、何をどのように学ぶのか見通しをもたせ、これからの学習への期待感を高める。	★道徳科とは、何をどのように学ぶ時間なのか。 ①心は一人一人にあり、それぞれ違うことを知る。 ②教科書 P4 の絵を見て、道徳科は「自分のこと」「相手のこと」「みんなのこと」「命や自然など」について考えていく時間であることを伝える。 ③教科書 P5 の上段の絵と、話し合うときの約束を見て、道徳科は、みんなと話し合いながら、いろいろな心について考える時間であることを伝える。 ④教科書の最初の絵を見て、見つけたことや思ったことを発表する。 ⑤巻頭詩をみんなで読む。 ⑥巻末「まなびの しろく」の使い方を知り、シールを貼る。		
	4月 (3)	【がっこう だいすき】 C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実 1 がっこう だいすき	学校生活の絵を見て思ったことを話し合う活動などを通して、先生や上級生、友達と共に過ごすよさについて考えさせ、クラスや学校の生活をみんなで楽しくしようとする心情を育てる。	★学校では、どんな楽しいことがあるかな。 ①発表したり話し合ったりするときにできるとよいこととして、「思ったことは、何でも話していい」ことを確認する。 ②学校で楽しみにしていることを思い起こし、発表する。 ③授業中の絵を見て、絵の中の子どもたちがどうしてその表情をしているのかを想像し、発表する。 ④休み時間と清掃時間の絵を見て、絵の中の子どもたちがどんなことを考えているのかを想像し、発表する。 ⑤これから、学校でどんなことを楽しみにしているかを発表する。 ⑥巻末「まなびの しろく」にシールを貼る。	○学校生活をみんなと楽しく過ごすよさ(楽しさ)について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 入学してからの学校生活の中で、友達と仲よく楽しく過ごしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 学校にはたくさんの楽しさがあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからの学校生活を、もっと楽しいものにしたいという意欲をもっている。	特別活動(学級活動) 共生
	4月 (4)	【きもちの よい せいかつ】 A (3) 節度、節制 2 きもちの よい せいかつ	1 日の生活を絵で確認し合う活動などを通して、気持ちのよい毎日を過ごすために大切なことについて考えさせ、生活の中で気をつけたいことを考え、気持ちのよい生活をしようとする実践意欲を育てる。	★毎日を気持ちよく過ごすためには、どんなことが大切かな。 ①発表したり話し合ったりするときにできるとよいこととして、「みんなに聞こえるように話す」ことを確認する。 ②朝、学校に来るまでにどんなことをしているかを振り返り、発表する。 ③起床、朝食、歯磨きの絵を見て、「いいな」「同じだな」と思うことを発表する。 ④登校時の絵を見て、「いいな」と思うことや「おかしいな」と思うことを発表する。 ⑤買い物の手伝い、入浴、就寝の絵を見て、「いいな」「同じだな」と思うことを発表する。 ⑥毎日気持ちよく過ごすために、どんなことが大切かを考え、発表する。 ⑦巻末「まなびの しろく」にシールを貼る。	○生活の中で気をつけたいことを考え、気持ちのよい生活をしようすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、決まった時間に寝起きしたり、しっかりと食事をしたり、安全に登下校したりしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、毎日を気持ちよく過ごすために大切なことはたくさんあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 毎日を気持ちよく過ごすために、どんなことに気をつけていけばよいかを考えている。	健康教育 消費者教育 食育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
一ねんせいになったよ	5月 (2)	【あかるい あいさつ】 B (8) 礼儀 3 あかるい あいさつ	さまざまな場面での挨拶を考える活動などを通して、自分も相手も気持ちよくなる挨拶とはどんな挨拶かについて考えさせ、進んで明るい挨拶をしようとする実践意欲を育てる。	★自分も相手も気持ちよくなるのは、どんな挨拶かな。 ①発表したり話し合ったりするときにできるとよいこととして、「話している人の方を見る」ことを確認する。 ②どんなときにどんな挨拶をしているかを振り返り、発表する。 ③「あかるい あいさつ」の絵を見て、それぞれの場面の吹き出しに入る挨拶を考え、発表する。 ④考えた挨拶を基に動作化をし、感じたことを出し合う。 ⑤自分も相手も気持ちよくなる挨拶は、どんな挨拶かを話し合う。 ⑥これまでの自分の挨拶のしかたを振り返り、これからどんな挨拶をしたいか発表する。 ⑦巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○進んで明るい挨拶をすることのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、自分も相手も気持ちよくなる挨拶をしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 挨拶をする側とされる側の立場から、挨拶することの気持ちよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分も相手も気持ちよくなるために、これからどんなふうに挨拶をしていこうかと考えている。	国語科
	5月 (3)	【なかよくね】 B (9) 友情、信頼 4 なかよくね	友達と過ごしている絵を見て気づいたことを話し合う活動などを通して、友達といっしょに活動する楽しさや助け合うことの大切さについて考えさせ、進んで友達と関わり、仲よく助け合おうとする心情を育てる。	★友達と仲よくしたり、助け合ったりすると、どんないいことがあるのかな。 ①発表したり話し合ったりするときにできるとよいこととして、「友達の話をよく聞く」ことを確認する。 ②入学して、友達といっしょにできていいな、楽しいなと思うことを出し合う。 ③休み時間と給食の時間の絵を見て、どのような場面でどんな声をかけ合っているかを想像し、発表する。 ④友達と仲よくなれる言葉を使って動作化し、そのときの気持ちを発表する。 ⑤友達と仲よくしたり助け合ったりすると、どんないいことがあるかを考え、話し合う。 ⑥これまでの自分は、友達と仲よくしたり助け合ったりしていたかを振り返り、これからどんなふうに関わりたいかを考え、発表する。 ⑦巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○進んで友達と関わり、仲よく助け合おうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達と仲よくしたり助け合ったりしているか、また、そうできないことはないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達と仲よくしたり助け合ったりするために、友達とさまざまな関わり方ができることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからも、友達と助け合い、仲よくしていこうと考えている。	特別活動(学級活動) 共生
	5月 (4)	【よい ことと わるい こと】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 5 よい ことと わるい こと	休み時間の絵を見て気づいたことを話し合う活動などを通して、よいと思ったことをするとどんな気持ちになるかについて考えさせ、よいことと悪いことを考えて行動しようとする判断力を育てる。	★よいと思ったことをすると、どんな気持ちになるかな。 ①発表したり話し合ったりするときにできるとよいこととして、「友達はどんな考えかを想像する」ことを確認する。 ②掲示された写真を見て、感想を発表し合う。 ③教科書 P14・15 の絵を見て、よいことをしている子を見つけ、よいことだと判断した理由を発表する。 ④教科書 P14・15 の絵を見て、悪いことをしている子を見つけ、その子はどうすればよかったのかを発表する。 ⑤よいことを進んで行った経験を振り返り、そのときの気持ちを発表する。 ⑥巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○よいことと悪いことを考えて行動しようとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、よいことと悪いことの区別をしているか、また、よいと思うことを進んで行っているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、よいと判断できることはさまざまにあることを知り、そのよさについても考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 よいことを進んで行ったときの気持ちよさに気づき、自分がよいと思ったことは進んで行おうと考えている。	安全教育 法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
一ねんせいになったよ	6月 (1)	【じぶんの いい ところ】 A (4) 個性の伸長 6 みんな じょうず	自分の「ほめじょうず」なところを喜ぶ「ぼく」の姿などを通して、自分自身の特徴について考えさせ、自分の長所を大事にしようとする実践意欲を育てる。	★じぶんの いい ところを みつけよう。 ①自分自身のいいところはどんなところか考える。 ②「みんな じょうず」を読み、「ぼく」は、どんなところが「ほめじょうず」なのかを考え、発表する。 ③友達や家の人のいいところを見つけ、発表する。 ④自分のいいところや、ほめたいところを見つけ、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○自分の長所を大事にしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分にはどんなよさがあるかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、さまざまな側面から自分のよさを見つけている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分のよいところを、これからも見つけていこうと考えている。	共生 キャリア教育
	6月 (2)	【いきて いるって いい な】 D (17) 生命の尊さ 7 みんな いきてる	絵を手がかりに、日々の生活で実感する身体感覚や感情を思い起こす活動などを通して、生きているよさやすばらしさについて考えさせ、生命を大切にしようとする心情を育てる。	★「いきて いるって、いいな。」と かんじるのは、どんな ときかな。 ①毎日さまざまな感覚や感情を抱いていることを意識し、どんなことを感じているかを振り返り、出し合う。 ②「みんな いきてる」の絵を見て、五つの絵の中で、自分も同じように感じたことのある絵はあるか、また、同じように感じたのはどんなときかを考え、発表する。 ③自分が、「生きているっていいな。」と感じるのはどんなときかを考え、発表する。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○生きているよさを感じ、生命を大切にしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分が普段どんな感覚や感情をもって生活しているかについて、改めて自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、誰もが毎日さまざまなことを感じて生きていることについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからも、あたりまえに感じられる感覚や感情を大切にしていこうとしている。	共生 安全教育 健康教育 食育
	6月 (3)	【したい ことが ある ときは】 A (3) 節度、節制 8 かぼちゃの つる	わがままなかぼちゃが、最後にはつるを切られて泣く話などを通して、自分のしたいことをするときを考えなければならないことについて考えさせ、わがままを抑えて快適な毎日を送ろうとする判断力を育てる。	★じぶんの したい ことが ある ときに、かながえるといいのは、どんな ことかな。 ①したいことだけをしているとどうなるかを想像し、出し合う。 ②「かぼちゃの つる」を読み、かぼちゃがみんなの言うことを聞かなかったのはどうしてかを考え、発表する。 ③かぼちゃがつるを伸ばすとき、どんなことを考えればよかったかについて話し合う。 ④自分がかぼちゃと同じようなことをしてしまったことはないか思い出し、それがどんなときだったか発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○わがまを抑えて快適な毎日を送ろうとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、わがまをしてしまうことはないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 つい自分のしたいことだけをしてしまう気持ちと、人の注意を受け入れることの大切さの両面から、自分がしたいことをするときに必要なことについて気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからも、わがまをすることなく、快適な毎日を送るために、どんなことに気をつけなければいかに考えている。	共生
	6月 (4)	【きまりをまもって】 C (10) 規則の尊重 9 (4) どうしてきまりがあるのかな	町の様子が描かれている絵などを通して、きまりはどうして守らなければならないかについて考えさせ、きまりをしっかりと守ろうとする判断力を育てる。	★きまりは、どうして まもらなければならないのでしょうか。 ①自分の周りにあるきまりを思い出し、発表する。 ②P18・19の絵を見て、きまりを守っていない人を探し、その人はどんなきまりを守っていないのかを出し合う。 ③決まりを守っていない人はどうして守らないのかを考え、話し合う。 ④きまりを守らないと、どんなことが起こるかを考え、話し合う。 ▼信号機が、赤のときや青のとき、青で点滅しているときは、どういう意味なのかを調べる。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○きまりはみんなにとって欠かせないものであり、それを守ることで、みんなが気持ちよく過ごせるということについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 きまりやきまりを守ることについて、自分はどんな考えをもっているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 きまりを守る人や守らない人、また、守っていない人を見る人などのさまざまな立場から、きまりを守ることの意味について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 きまりの意味を捉えたうえで、これからもしっかりときまりを守っていこうという意欲をもっている。	安全教育 法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
一ねんせいになったよ	適宜	★こころを かよわそう★ ともだちと なかよく すごそう B (9) 友情、信頼 年間を通して、適宜、「ともだちと なかよく すごそう」を読み、自分のことを伝え合う活動を通して、友達と仲よくなることについての意識をもつ。				
	7月 (1)	【すなおな心で】 A (2) 正直、誠実 10 (16) お月さまとコロ	友達に謝ることができずに悩むコロとお月様との会話などを通して、素直な心で過ごすとうんないことがあるかを考えさせ、素直な心で伸び伸びと生活しようとする心情を育てる。	★すなおな心で すごすと、どんないいことがあるでしょう。 ①謝りたいのに謝れなかったことがあるかを振り返り、出し合う。 ②「お月さまとコロ」を読み、コロは謝りに行けない自分のことを、どうして嫌になったのかを考え、発表する。 ③「ギロくんにあやまろう。」「みんなとも なかよく あそぼう。」と決めたとき、コロはどんな気持ちだったか考え、話し合う。 ④今までに素直になれてよかったと思ったときはあるか、また、それはどんなときか思い出し、発表する。 ▼友達が素直に謝ってくれたら、どんな気持ちになるかを想像する。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○素直な心のすばらしさに気づき、そのような心をもって伸び伸びと生活していきたいと考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 素直になりたいのになれなかった経験について、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の立場に立ったり、友達の考えを聞いたりして、素直な心でいることのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 素直に生活していくためにはどんなことが大切かを考え、自分の生活に生かそうとしている。	
	7月 (2)	【かぞく だいすき】 C (13) 家族愛、家庭生活の充実 11 かぞくと おはなし	いろいろな動物の親子の会話を想像する活動などを通して、自分の家族と話したいことを考えさせ、家族の温かさや優しさを大切に思い、敬愛の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。	★かぞくと、どんな おはなしを したいかな。 ①自分が気に入った動物の家族を選び、その理由とともに、発表する。 ②動物の家族の絵を見て、どんなことを話しているかを想像し、動物の家族になったつもりで発表する。 ③自分は家族とどんな話をしたいか考え、話し合う。 ▼「かながえる ヒント」(どうとくで つかう ことば)を読み、発表するときに活用する。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○家族の温かさや優しさを大切に思い、敬愛の気持ちをもって接しようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 家族とどんな話をしているか、また、そのときどんな気持ちかを思い出して、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 動物の親子の会話から、家族が自分にさまざまな優しい心遣いを向けてくれていることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分を大切にしてくれる家族と、どんなことをしたいかを考えている。	生活科
○「学習のまとめり」を振り返った評価(4～7月) ここまでで学んだ、【C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (3) 節度、節制】【B (8) 礼儀】【B (9) 友情、信頼】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【A (4) 個性の伸長】【D (17) 生命の尊さ】【A (3) 節度、節制】【C (10) 規則の尊重】【A (2) 正直、誠実】【C (13) 家族愛、家庭生活の充実】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「まなびの きろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
まわりのひとと なかよくね	9月 (1)	【しぜんと なかよく】 D (18) 自然愛護 12 あさがお	丁寧に観察して書いたあさがおの観察日記などを通して、草花や動物はどんな気持ちで世話をすればいいかについて考えさせ、優しい気持ちで動植物に接しようとする心情を育てる。	★くさばなや どうぶつは、どんな きもちで せわを すれば いいでしょう。 ①草花や動物の世話をした経験を振り返り、出し合う。 ②「あさがお」を読み、この文を書いた子どもはあさがおと仲よくなれたと思うかを考え、発表する。 ③自分が草花や動物と仲よくなれたと思った経験はあるか、また、どんなことで仲よくなれたと思ったのかを出し合い、話し合う。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○優しい気持ちで動植物に接することのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、どのように動植物に接しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、動植物に接するときに大切にしたい気持ちについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから、動物や植物に接するときは、どんな気持ちで接していきたいかを考えている。	国語科 生活科 環境教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動 (中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動 (▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
まわりの ひとと なかよくね	9月 (2)	【いきて いるから できる こと】 D (17) 生命の尊さ 13 いきて いるって	体のぬくもりや心臓の鼓動を感じるなど、生きているからこそ実感することを表した詩などを通して、生きているとどんないいことがあるかを考えさせ、生命を大切にしようとする心情を育てる。	★いきて いると、どんな いい ことが、あるでしょう。 ①今日、朝、目が覚めたとき、最初に思ったのはどのようなことか思い出し、発表する。 ②「いきて いるって」を読み、「わたし」はどうして「いきて いるって、なんだか いいね。」と思ったのかを考え、発表する。 ③生きているからできることには、どんなことがあるかについて考え、話し合う。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○生きていることのよさを感じ、生命を大切にしようとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段の生活の中で、「生きているあかし」を実感するのはどんなときか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、生きていることのすばらしさを感じ取ることについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 生きていることのすばらしさを感じるにより、命を大切にしていこうと考えている。	共生 健康教育	
		★かんじよう いのち★ どきどきがきこえるかな。 D (17) 生命の尊さ 自分や友達、動物などの心臓の音を聞き、生きている「証」を実感し、生きていることのすばらしさを感じ取る。					共生
	9月 (3)	【おせわに なって いるひとに】 B (7) 感謝 14 ありがとうが いっぱい	家族や学校の調理員さんなどに「ありがとう」と言う「わたし」の気持ちを話し合う活動などを通して、どんな人に世話になっているのかを多様に考えさせ、感謝の心を伝えようとする実践意欲を育てる。	★どんな とき、どんな ひとに、おせわに なって いるでしょう。 ①どんなときに、「ありがとう」と言うかを振り返り、出し合う。 ②「ありがとうが いっぱい」を読み、「わたし」は、お父さん、お母さん、給食の調理員さん、交通指導員さんにどんな気持ちで「ありがとう。」と言っているかを考え、話し合う。 ③自分は、誰にどんな「ありがとう」を言いたいかを考え、発表する。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○感謝する気持ちを具体的な言葉や行動に表すことの大切さを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 どんなときに感謝の気持ちを表しているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、「ありがとう。」と言いたい相手や言うべき相手はたくさんいることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分を支えてくれる人に対して、感謝の気持ちを伝えていこうと考えている。	共生 キャリア教育	
9月 (4)	いじめを ゆるさない ところ 【やさしい きもちで】 B (6) 親切、思いやり 15 やさしい ひと、 みつけた	学校生活の絵から、友達に優しいことをしている人を見つける活動などを通して、優しい気持ちとはどんな気持ちなのかを考えさせ、相手のことを考え、優しく接しようとする心情を育てる。	▼「やさしい ひと、みつけた」と「あしたは えんそく」を読んで、友達と仲よくすることについて考えることを確認する。 ★やさしい きもちとは、どんな きもちでしょう。 ①周りの人に優しくしてもらった経験があるかを思い起こし、出し合う。 ②教科書 P48・49 の絵の中から優しいことをしている人を見つけ、発表する。 ③②で見つけた人がどんな気持ちで相手に言葉をかけているかを想像し、話し合う。 ④自分も誰かに優しくしたことがあるか、また、それは誰にどんなことをしたときかを思い起こし、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○相手のことを考え、優しく接しようとするもののよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段の生活において、幼い人や友達など身近にいる人に温かい心で接し、親切にしているかと自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 相手に優しく接することは、相手が喜ぶだけでなく、自分の喜びでもあることに気づき、親切な行為をしようという意欲を高めている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 親切にしたときの相手の喜びを自分の喜びとして受け入れ、身近にいる人に進んで優しく接しようと考えている。	いじめ問題 共生		

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
まわりの ひとと なかよくね	10月 (1)	【すきか きらいかでなく】 C (11) 公正、公平、社会正義 16 あしたは えんそく	好き嫌いで座席を選びたがるうさぎの行為などを通して、好きか嫌いかで行動を変えるのはどうしてよくないのかを考えさせ、自分の好き嫌いにとらわれず接しようとする判断力を育てる。	★すきか きらいかで する ことを かえるのは、どうして よく ないのでしょうか。 ①自分は、誰にでも同じようにすることができているかを振り返り、発表する。 ②「あしたは えんそく」を読み、うさぎさんに「おとなりは いや。」と言われたぞうさんとさるさんは、どんな気持ちだったかを考え、発表する。 ③ねこさんに「おとなりは いや。」と言われて、うさぎさんはどんなことを考えたかを想像し、話し合う。 ④好きか嫌いかですることを変えるのは、どうしてよくないのかについて考え、話し合う。 ▼教科書 P54 のコラム「こんな こと、して ない？」を読む。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○自分の好き嫌いにとらわれず接することの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段の自分は、誰とでも仲よくしているか、相手を傷つけたり、嫌な思いをさせたりしていないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 好き嫌いをする側やされる側の立場から、好きか嫌いかですることを変えることについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の好みで対応を変えることなく、誰とでも仲よくしていききたいと考えている。	特別活動(学級活動) いじめ問題 共生	
	適宜	★コラム★ <いじめを ゆるさない ころ> こんな こと、して ない？ A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任／B (6) 親切、思いやり／C (11) 公正、公平、社会正義					いじめ問題
	10月 (2)	【よく ないと おもった ら】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 17 ぼんたと かんた	迷いながらも、よくない誘いを断るぼんたの姿などを通して、よくないことをしないためにはどうすればいいのかを考えさせ、よいことを進んで行おうとする判断力を育てる。	★よくない ことを しないためには、どう すれば よいのでしょうか。 ①していいことか、しないほうがいいことか、迷ったことがあるかを思い出し、発表する。 ②「ぼんたと かんた」を読み、ずんずん歩いていくかんたを見たとき、ぼんたはどのような気持ちになったかを想像し、発表する。 ③ぼんたはどうして「ぼくは、いかないよ。」と言ったのかを考え、話し合う。 ④自分で考えて決めたことがあるか、また、それはどのようなことかを振り返り、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うために大切な思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 正しいと思ったことを周りに流されずに行っているか、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分がよいと思ったことを周りに流されずに行うことの難しさや、それができたときのすがすがしさの両面から、自分が正しいと思うことを行うことのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分で善悪を判断し、正しいと思ったことを行うために、自分はどのようにしていきたいかについて考えている。	安全教育	
適宜	★なんだろう なんだろう★ 「がっこう」って、なんだろう。 関連する内容項目 C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実 A (2) 正直、誠実／B (9) 友情、信頼／C (10) 規則の尊重 家庭学習や朝の読書活動の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、「がっこう」とは何なのか、考えてみる。						
○「前期」を振り返った評価(4～10月2週目) ここまで学んだ、【C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (3) 節度、節制】【B (8) 礼儀】【B (9) 友情、信頼】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【A (4) 個性の伸長】【D (17) 生命の尊さ】【A (3) 節度、節制】【C (10) 規則の尊重】【A (2) 正直、誠実】【C (13) 家族愛、家庭生活の充実】【D (18) 自然愛護】【D (17) 生命の尊さ】【B (7) 感謝】【B (6) 親切、思いやり】【C (11) 公正、公平、社会正義】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「まなびの きろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。							

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
まわりの ひとと なかよくね	10月 (3)	【すてきな学校】 C(14)よりよい学校生活、集団生活の充実 18(5) しょうかいします	自分の学校を紹介する「わたし」の姿などを通して、自分たちの学校のいいところはどこかを考えさせ、学校やクラスに愛着をもち、みんなで楽しい生活にしようとする心情を育てる。	★自分たちの学校の「いいところ」は、どんなところでしょう。 ①学校は、自分にとってどんなところかを考え、出し合う。 ②「しょうかいします」を読み、「わたし」は、どんな気持ちで自分の学校を紹介したのかを考え、話し合う。 ③自分の学校で、紹介したい「いいところ」や「気に入っているところ」はどんなところかを考え、話し合う。 ▼学校をもっといいところにするために、どんなことができるかを考える。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○学校生活に関わる物や場所、人々に、親愛の情をもって学校生活を楽しむよさを感じたときの思いを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の学校にはどんなよさがあるか、また、どんな人たちに支えられているかと考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、自分の学校には、さまざまなよさがあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の学校のよさを自覚したうえで、学校での生活をさらによいものにしようと考えている。	特別活動(学校行事)
	10月 (4)	【がんばって はたらく】 C(12) 勤労、公共の精神 19 きゅうしよく とうばん	給食当番の仕事に取り組む「ぼく」の一生懸命な姿などを通して、みんなのために働くことのよさについて考えさせ、みんなのために役立とうとする心情を育てる。	★みんなの ために がんばる ことが できると、どんなきもちに なるでしょう。 ①日頃、自分の仕事をがんばっているかを振り返り、発表する。 ②「きゅうしよくとうばん」を読み、「ぼくの ところで、みんなが まって いる」とき、「ぼく」はどんな気持ちだったかを考え、発表する。 ③先生やみかさんが褒めてくれたとき、「ぼく」はどんな気持ちだったかを考え、話し合う。 ④これまでに、みんなのためにがんばってよかったと思ったことはどんなことか振り返り、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○みんなのために役立とうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 みんなのためにがんばった経験や、そのときの気持ちについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、みんなの役に立つことには、さまざまな気持ちよさやうれしさがあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからも、みんなのために役に立とうという意欲をもっている。	特別活動(学級活動) キャリア教育 食育
	11月 (1)	【あいでも自分も気持ちよく】 B(8) 礼儀 20(22) なかよしだけど	遊びに来た友達の行為を「何か、変だな。」と思う「ぼく」の姿などを通して、相手も自分も気持ちよく過ごすために大切なことを考えさせ、自他ともに気持ちよく過ごすことのできる挨拶や振る舞いをしようとする実践意欲を育てる。	★あいでも自分も 気持ちよく すごすために 大切なのは、どんなことでしょうか。 ①友達の家に遊びに行ったら、初めに何と言うかを振り返り、出し合う。 ②「なかよしだけど」を読み、「ぼく」は、友達のどんなところを「何か、へんだな。」と思ったのかを考え、発表する。 ③「ぼく」の家に遊びに来た友達は、どうすればよかったのかを考え、話し合う。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○自他ともに気持ちよく過ごすことのできる挨拶や振る舞いをするために大切なことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 時と場に応じた気持ちのよい挨拶や振る舞いをしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな場面を想定して、どうすれば相手も自分も気持ちよく過ごせるかについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分も相手も気持ちよく過ごすために、どのような挨拶や振る舞いをしていこうかと考えている。	社会参画に関する教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
まわりの ひとと なかよくね	11月 (2)	【自分がしなければいけないこと】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 21 (18) ぼくは まけない	「へこたれ虫」に負けずに宿題をする「ぼく」の姿などを通して、すべきことをするためには、どんな気持ちが大切かを考えさせ、自分のすべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする判断力を育てる。	★しなければいけないことを しっかりとするためには、どんな気持ちが 大切でしょう。 ①自分の「しなければいけないこと」はどんなことか考え、出し合う。 ②「ぼくは まけない」を読み、ため息が出てきたとき、「ぼく」はどんなことを考えていたか想像し、発表する。 ③「ぼく」はどんな気持ちで「ぼくは、まけないよ。」と言ったのか考え、話し合う。 ④しなければいけないことをがんばってやり終えたことはあるか、また、それはどんなことか振り返り、出し合う。 ▼「へこたれ虫」が出てきたら追い払うことはできるか考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○自分がすべき勉強や仕事をしっかりと行うことの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分のすべきことにどんな姿勢で取り組んできたかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分のやるべき勉強や仕事をやり遂げたときの喜びや充実感を感じるとともに、努力した自分のよさにも気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分のすべきことをするとき、どんな姿勢で取り組んでいけばよいのかと考えている。	
	11月 (3)	【友だちっていいな】 B (9) 友情、信頼 22 (34) ぶらんこ	横取りしたブランコの綱が切れて泣くくまと、くまを慰めながら丈夫なブランコを作ろうとする動物たちの交流などを通して、友達と仲よくすることについて考えさせ、友達の気持ちを考え、仲よく助け合おうとする心情を育てる。	★友だちと なかよくすることについて 考えましょう。 ①今日、友達とどんなことをしたかを振り返り、出し合う。 ②「ぶらんこ」を読み、ぶらんこを独り占めしたくまさんを見て、おさるさん、うさぎさん、りすさんは、どんなことを思ったか考え、出し合う。 ③おさるさんはどうして、「もっとじょうぶな ぶらんこを作ろう。」と言ったのかを考え、話し合う。 ④友達がいて「うれしいな。」「よかったな。」と思うのはどんなときかを振り返り、話し合う。 ▼友達と助け合った経験があるか、また、どんなことをしたのかを思い起こす。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○友達の気持ちを考えて、友達と仲良く助け合うことのよさを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達と仲よく過ごせた経験や、過ごせなかった経験などについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場から、友達と仲よくするために大切なことについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 友達と仲よく助け合っていくために、どんなことを大切にしていこうかと考えている。	いじめ問題 共生
	11月 (4)	【うつくしい ところ】 D (19) 感動、畏敬の念 23 ひしゃくぼし	自分よりも相手のことを思いやる女の子や母親の姿などを通して、美しい心とはどんな心なのかを考えさせ、美しいものや清らかなものに対する素直な感動やすがすがしい思いを大事にしようとする心情を育てる。	★うつくしい ところとは、どんな ところでしょう。 ①星を見て、どんなことを思うかを出し合う。 ②「ひしゃくぼし」を読み、この話ではどんな不思議なことが起こったのかを確認する。 ③この話の中で、美しい心だなと思うところはどこか、また、どうしてそう思うのかを話し合う。 ④美しい心だなと思った話を讀んだことがあるか、また、それはどんな話を思い起こし、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○美しいものや清らかなものに対する素直な感動やすがすがしい思いを大事にしようとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身近な自然や人の行為などで美しいと感じられるものには、どんなものがあるか、これまでにどんなものに心を動かされたか、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、美しいと思うものやその理由はさまざまであることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 美しいものを見つけたり、気づいたりしたときの気持ちよさを大切にしたいと考えている。	図書館活用

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
まわりの ひと なかよくね	12月 (1)	【せかいのことを知ろう】 C (16) 国際理解、国際親善 24 (30) 日本のお米、 せかいのお米	おにぎりのおいしさから米に興味をもち、世界の米料理を調べる「わたし」の姿などを通して、他国で作られたものや、他国から伝わってきたものを知り、他国の文化や伝統に興味をもち親しもうとする実践意欲を育てる。	★ほかの国で作られたものや、ほかの国からつたわったことを知しましょう。 ①他の国の料理で知っているものがあるかを振り返り、出し合う。 ②「日本のお米、せかいのお米」を読み、お米が他国から伝わってきたことを知った「わたし」は、どんなことを思ったかを考え、発表する。 ③P136・137の世界のお米を使った料理の写真を見て、どんなことを思ったかを話し合う。 ④他の国のことで知っていることはあるか、また、それはどんなことかを発表する。 ▼給食のお米を使った料理で、どんなものを食べたことがあるかを振り返る。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○他国で作られたものや、伝わってきたものがあることに気づき、そのようなものは他にもないか興味・関心をもって、他国の文化にも親しんでいこうとする思いをもつことができた。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 他国のものや他国のことについて、自分はどんなことを知っているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの国にさまざまな文化があることについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 他国のことについて知ることのおもしろさに気づき、他国に対する興味・関心をもち続けようとしている。	共生 国際理解教育 食育
	12月 (2)	【かぞくの一人として】 C (13) 家族愛、家庭生活の充実 25 (25) もうすぐお正月	祖母の荷物を持つめぐみの姿を見て、大掃除の手伝いを始めたしんじの心境の変化などを通して、家族の一人として、どんな気持ちで過ごすことが大切なのかを考えさせ、家族を敬愛し、進んで役に立とうとする心情を育てる。	★かぞくの一人として、どんな気持ちで過ごすことが大切なのでしょう。 ①「もうすぐお正月」を読み、めぐみをじっと見ていたしんじはどんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ②おじいちゃんとおばあちゃんの笑顔を見て、しんじはどんなことを思ったかを考え、話し合う。 ③家族の一人として、どんな気持ちを大切にしたいかを考え、発表する。 ▼正月の前にできそうな手伝いがあるかを考える。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○家族の一員として、進んで役に立つことのすばらしさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 家族の一員としてどんなことをしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達の考えを基に、家族の一員としてどんな気持ちでいることが大切かについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 家族の一員として、どんな気持ちで家族と接していこうかと考えている。	図書館活用 伝統文化教育
	12月 (3)	【にほんのよいところ】 C (15) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 26 にほんの あそび	正月という季節に合った日本の伝統的な遊びの絵を手がかりに、日本に伝わる遊びについての知識や体験を交流する活動などを通して、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもとうとする実践意欲を育てる。	★にほんや、あなたがすんでいるところにつたわるあそびをしりましょう。 ①自分はいつも、どんな遊びをしているかを思い起こし、出し合う。 ②「にほんの あそび」の絵を見て、絵の中にしたことのある遊びはあるかを探し、そのどんなところが楽しかったかを発表する。 ③絵の中の遊びの他に、自分が知っている昔からの遊びについて思い起こし、伝え合う。 ④巻末「まなびのきろく」にシールを貼る。	○我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもとうとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 体験したことのある日本の伝統的な遊びや、そのおもしろさについて振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、日本にはいろいろな伝統的な遊びがあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからも、日本の伝統的な遊びに挑戦するなどして、日本の伝統に親しもうという意欲をもっている。	伝統文化教育
○「学習のまとめ」を振り返った評価(9～12月) ここまで学んだ、【D (18) 自然愛護】【D (17) 生命の尊さ】【B (7) 感謝】【B (6) 親切、思いやり】【C (11) 公正、公平、社会正義】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【C (12) 勤労、公共の精神】【B (8) 礼儀】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【B (9) 友情、信頼】【D (19) 感動、畏敬の念】【C (16) 国際理解、国際親善】【C (13) 家族愛、家庭生活の充実】【C (15) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「まなびのきろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんなで いっしょに	1月 (2)	【あいてを思いやって】 B (6) 親切、思いやり 27 (23) くりの み	相手のことを思いやり、栗の実を分けてあげようとするうさぎの優しい姿などを通して、困っている人のためにどんなことができるか、思いやり、親切にしようとする心情を育てる。	★こまっている人のために、どんなことができるか、思いやり、親切にしようとするうさぎの優しい姿などを通して、困っている人のためにどんなことができるか、思いやり、親切にしようとする心情を育てる。 ①誰かに優しくされたとき、どんな気持ちになったかを振り返り、出し合う。 ②「くりの み」を読み、きつねは、どんな気持ちで「だめ、だめ。何にも見つかりませんでした。」と言ったのかを考え、発表する。 ③「しばらく考えていた」うさぎは、どんなことを考えていたのか想像し、話し合う。 ④自分もうさぎのように、誰かに優しくできたことがあるか、また、それはどんなときか考え、発表する。 ▼もう一度、きつねがうさぎに「きつねさん、どうでしたか。」ときかれたら何と答えるか、今日学んだことを生かして、演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P72 の「かんがえるヒント」(えんじてかんがえよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○相手を思いやり、親切にしようとする心や行動のすばらしさや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 困っている人に思いやりをもって行動しているか、身近な人に親切にされたとき、どんな気持ちになるかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 相手に優しく接することは、相手の喜びであるだけでなく、自分の喜びとしても受け入れている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 困っている人に対して、どんなときでも思いやりの心をもつためには、どうすればよいかを考えている。	共生
	1月 (3)	【自分たちとちがっても】 C (11) 公正、公平、社会正義 28 (15) およねいりすさん	島への同行を断られたりすと、りすの思いに気づき、いっしょに遊ぼうと考えた白鳥、あひる、かめの姿などを通して、誰とも仲よくすることの大切さを考えさせ、違いや好き嫌いにとらわれず、誰に対しても公正、公平に接していこうとする判断力を育てる。	★自分とちがうところがあってもなかよくすることの大切さについて、考えましょう。 ①自分は誰とでも仲よくできているかを振り返り、発表する。 ②「およねいりすさん」を読んで、島で遊んでいてもちっとも楽しくない3匹は、どんな話をしたかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P72 の「かんがえるヒント」(えんじてかんがえよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ③りすさんもいっしょに島へ行くとき、3匹はどんなことを思ったかを考え、話し合う。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○違いや好き嫌いにとらわれず、誰に対しても公正、公平に接する大切さを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 みんなと仲よくしているか、誰かを仲間外れにしていないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場から、互いの違いを受け入れて仲よくすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 それぞれの違いを尊重して、誰にでも公平に接するために、どんなことを大切にしたいかと考えている。	いじめ問題 共生
	1月 (4)	じょうほうと むきあう 【みんなでつかうときは】 C (10) 規則の尊重 29 みんなでつかうものやばしよ	公共の物や場所での約束やきまりを守る、ためき、きつね、おかみの行為などを通して、約束やきまりがある理由を考えさせ、約束やきまりを守り、みんなが使う物や場所を大切にしようとする判断力を育てる。	▼約束やきまりはどうして守らなければいけないのかを、「みんなでつかうものやばしよ」を読んで考えることを確認する。 ★みんなでつかうものやばしよには、どうしてやくそくやきまりがあるのでしょうか。 ①クラスや学校の約束を思い出し、出し合う。 ②「みんなでつかうものやばしよ」を読み、ためきさん、きつねさん、おかみさんになったつもりで、「①・②・③の場面」での「どうして～」という質問に対する答えを考え、話し合う。 ③約束やきまりを守ってよかったと思ったことはあるか、また、それはどんな約束やきまりだったかを思い起こし、発表する。 ▼教科書 P108 のコラム「いろいろなやくそくやきまり」を読む。 ④巻末「まなびのきろく」にシールを貼る。	○約束やきまりを守り、みんなが使う物や場所を大切にしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りにはどんな約束事やきまりがあるか、またはそれらを守っているかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、みんなが使う物や場所についての約束事やきまりを守ることの意義について、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 公共の場所で、みんなが気持ちよく過ごせるようにするためには、自分にどんな気持ちが必要かと考えている。	情報モラル 法教育
適宜		★コラム★『じょうほうと むきあう』 いろいろなやくそくやきまり C (10) 規則の尊重				情報モラル 法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんな で いっしょに	2月 (1)	【のびのびと せいかつする ために】 A (2) 正直、誠実 30 なわとびカード	縄跳びカードに真面目に取り組む「わたし」の姿などを通して、伸び伸びと生活するために大切なことを考えさせ、うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活しようとする判断力を育てる。	★のびのびと せいかつする ために たいせつな ことは、なんでしょう。 ①これまでに、ごまかしてしまいそうになったことはないかを振り返り、発表する。 ②「なわとびカード」を読み、ともみさんに「おまけしてあげるよ。」と言われたとき、「わたし」はどんなことを考えたかを想像し、出し合う。 ③「もう いちど とんで みるね。」の後に、「だってー。」と続けるとしたら、「わたし」は何と言ったと思うかを考え、話し合う。 ④伸び伸びと生活するために大切なことは何かを考え、話し合う。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活をしようとすることのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 つい、ごまかしをしてしまいそうになることはないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 つい、うそやごまかしをしたくなる気持ちと、うそやごまかしをすることで後ろめたさを感じるものの両面から、正直でいることのよさについて気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 うそをついたりごまかしたりせず、自分に対して正直でいるために、どんな気持ちを大切にしていこうかと考えている。	体育科 特別活動(学校行事)
	2月 (2)	【自分のよいところ】 A (4) 個性の伸長 31 (8) おり紙の名人 ——よしざわ あきら	大好きな折り紙を研究し続け、折り紙名人となった吉澤さんの姿などを通して、自分の好きなことやよいところに気づいたらどうするかを考えさせ、長所に気づき、それを伸ばそうとする実践意欲を育てる。	★自分の すきなことや よいところに気づいたら、どうするとよいでしょう。 ①自分のよいところはどんなところだと思うかを振り返り、出し合う。 ②「おり紙の名人——よしざわ あきら」を読み、あきらさんが新しい折り紙を伝え続けたのはどんな気持ちがあったからかを考え、出し合う。 ③自分の好きなことやよいところは何かを、「好きなことやよいところを 見つけるヒント」を基に考え、話し合う。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○自分の好きなところやよいところに気づき、それを伸ばすよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の好きなことは何か、また、よいところはどんなところかなど、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 「好きなことや よいところを 見つけるヒント」を基に、さまざまな角度から自分の個性について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の好きなことやよいところを見つけて、それを伸ばしていこうと考えている。	図画工作科 キャリア教育
	2月 (3)	【がんばって つづける】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 32 やれば できるんだ	「わたし」が一生懸命にうんていの練習に取り組む姿などを通して、がんばって続けるとどんないいことがあるかを考えさせ、やるべきことをしっかりと行おうとする実践意欲を育てる。	★がんばって つづけると、どんな いい ことが、あるでしょう。 ①これまでにがんばって続けたことはあるか振り返り、出し合う。 ②「やれば できるんだ」を読み、「わたし」はどんな気持ちで休みの日にもたくさん練習をしたのかを考え、発表する。 ③「わたし」は、どうしてがんばった印が増えそうだったのかを考え、話し合う。 ④これまでに、「がんばって よかったな。」と思ったことはあるか、また、それはどんなことか振り返り、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○やるべきことをしっかりと行おうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまでに自分自身ががんばった経験や、そのときの気持ちについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 何かを最後までやり通すことのすばらしさと難しさの両面から、諦めずに努力し続けることについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから、決めたことを諦めずにやり通すために、どんな気持ちを大切にしていこうかと考えている。	体育科

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんな いっしょに	3月 (1)	【ありがとうと思える心】 B (7) 感謝 3 3 (3 3) ありがとうの絵	叱られたことを「ありがとう」と思う父の話聞き、その意味を考える「ぼく」の姿などを通して、「ありがとう」と思える心について考えさせ、日頃世話になっている人々の善意に気づき、感謝しようとする心情を育てる。	★ありがとうと思える心について、考えましょう。 ①「ありがとう」を言うのはどんなときかを考え、出し合う。 ②「ありがとうの絵」を読み、もやもやした気持ちで家に帰った「ぼく」はどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ③心の中のもやもやが晴れた「ぼく」はどんなことに気づいたかを考え、話し合う。 ④誰かに注意されたとき、相手はどんな気持ちで注意してくれたのだと思うかを発表する。 ▼誰かに注意されたときに「ありがとう。」と言ったら、どんな気持ちになるかを想像する。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○自分を思っていて注意してくれている周囲の人などの存在に気づき、感謝の心をもつことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 どんなことに対して感謝の気持ちをもっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 何かをしてもらったときに限らず、相手に対して感謝の気持ちをもつべき場面が、日常生活の中にたくさんあることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 感謝の気持ちをもって生活していくためには何が必要かを考え、自分の生活に生かそうとしている。	図画工作科 共生
	3月 (2)	【おおきく そだって】 D (17) 生命の尊さ 3 4 (3 3) ちいさな ふとん	小さな布団で眠る生まれたばかりの弟の様子から自分の成長に気づく「わたし」の姿などを通して、成長を感じるときについて考えさせ、生きることのすばらしさを感じ、生命を大切にしようとする心情を育てる。	★おおきく なったと かんじるのは、どんな ときでしょう。 ①自分が小さかったときのことで覚えていることを思い起こし、出し合う。 ②「ちいさな ふとん」を読み、「わたし」はどうして「たからもの」をもって いるような きもち」になったのかを考え、発表する。 ③「もう この おふとんでは ねられなく なったわね。」とお母さんに言われたとき、「わたし」はどんなことを思ったのかを考え、話し合う。 ④「自分は大きくなったな。」と感じるのはどんなときかを振り返り、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○生きていることのすばらしさを感じ、生命を大切にしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りの人を大切に思ったり、身の回りの人から大切にされたりしたことについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場から、身の回りの方は、どんな気持ちで自分の命を見守っているのかについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 成長していくかけがえのない生命を大切にしていこうと考えている。	生活科 健康教育
○「学習のまとめ」を振り返った評価(1～3月) ここまで学んだ、【B (6) 親切、思いやり】【C (11) 公正、公平、社会正義】【C (10) 規則の尊重】【A (2) 正直、誠実】【A (4) 個性の伸長】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【B (7) 感謝】【D (17) 生命の尊さ】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「まなびの きろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
○「後期」を振り返った評価(10月3週目～3月) ここまで学んだ、【C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【C (12) 勤労、公共の精神】【B (8) 礼儀】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【B (9) 友情、信頼】【D (19) 感動、畏敬の念】【C (16) 国際理解、国際親善】【C (13) 家族愛、家庭生活の充実】【C (15) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【B (6) 親切、思いやり】【C (11) 公正、公平、社会正義】【C (10) 規則の尊重】【A (2) 正直、誠実】【A (4) 個性の伸長】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【B (7) 感謝】【D (17) 生命の尊さ】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「まなびの きろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						